

えとクリニック通信

2017 夏 No41

えとクリニック TEL0176-25-2525



『健診』と『当院の検査』

皆さんは健診と当院の検査は同じものと思われていますか？
私たちはまるで違うものと考えています

健診とは治療している病気がなく、何も自覚症状がない方が早期に病気を見つけるために受けるものです。誰に限らず決まった検査をして、結果を渡されて終わりです。

それとは逆に当院で受けていただいている検査は、何の治療をされているかによっておひとりずつ違います。そしてその結果をこれまでのデータと比較しながら説明して、治療に役立てます。

例えば糖尿病の治療をされている方なら、血糖値を知るために採血をします。血管をいためていないか心電図や胸部レントゲン・血圧脈波検査も年に一度は必要です。また糖尿病の方は癌のリスクが高くなるため、胃や大腸の内視鏡検査もお勧めしています。同様に、高血圧の方、脂質異常の方と、当院に通われている方ひとりひとりに合わせて必要な検査をしております。

私たちはこれからも当院に通院される皆さんが、健やかな生活を送られるようにお手伝いしたいと考えています。

根岸 智子

一度は大腸内視鏡検査を!!

2015年、癌で亡くなった人の部位別順位は

男性 1位 肺 癌

2位 胃 癌

3位 **大腸癌**

女性 1位 **大腸癌**

2位 肺 癌

3位 胃 癌

癌は地域によって死亡率に差があり

青森県は全国平均を大きく越え

大腸癌は男女ともに“死亡率”は 全国一位です

また、これまで当院で大腸癌が見つかった人は、260人にも上ります。
癌はとても身近な病気になっています。あなたは大丈夫ですか？

前号の通信では、とても残念な結果になってしまったAさんについて私どもの反省としてご紹介しました。今回は、大事に至らず完治することができたBさんについてご紹介します。



Bさんは定期採血で糖尿病がみつかりましたが、現在は良いコントロールで経過しております。

糖尿病の方は大腸癌にかかるリスクが非常に高いため、Bさんにも一度大腸内視鏡検査をしてみましようとお勧めしていました。何も症状はなかったのですが、すぐに予定を立て検査しました。結果、拇指頭大の癌がみつかりましたが、手術をし完治することができました。

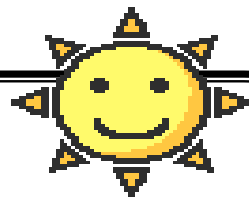
現在は、術後の経過も良く元気になっておられます。このように、たとえ大腸癌がみつかったとしても、多くの癌は完治することができるのです。

そこで私たちは、せめて当院に通院されている方には一度は検査を受けて頂けるように

“大腸内視鏡検査を受けたことがありますか？”

など、ひとりひとりのカルテを見ながらお声をかけております。
検査については詳しくは職員にご相談下さい。

漆館 生子



熱中症に気をつけて！！

気温の高い日が続いています。熱中症には十分に注意をしましょう。
気温や湿度が高い日は屋外に長く出ないようにし、のどが乾いていなくても水分はこまめにとりましょう。スポーツドリンクなどは適度の塩分・糖分が含まれているのでスムーズに吸収できます。

熱中症はいつでも・どこでも・誰でもかかる危険があります。症状もめまいやほてり・筋肉痛やけいれん・頭痛や吐き気などと様々です。おかしいなと思ったら早めの受診をお勧めします。

《受付からのお知らせ》



肺炎球菌ワクチン接種について

平成29年度の接種期間は、

平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日までです。

*平成29年度に以下の年齢になる方。

*今までに肺炎球菌ワクチンを接種したことがない方が対象です。

65歳	昭和27年4月2日	～	昭和28年4月1日	生まれの方
70歳	昭和22年4月2日	～	昭和29年4月1日	生まれの方
75歳	昭和17年4月2日	～	昭和18年4月1日	生まれの方
80歳	昭和12年4月2日	～	昭和13年4月1日	生まれの方
85歳	昭和7年4月2日	～	昭和8年4月1日	生まれの方
90歳	昭和2年4月2日	～	昭和3年4月1日	生まれの方
95歳	大正11年4月2日	～	大正12年4月1日	生まれの方
100歳	大正6年4月2日	～	大正7年4月1日	生まれの方

保険証確認のお願い

国からの指導により保険で診療をうけられる方は月に一回、保険証を確認させていただいております。

保険証の変更や変更手続き中な方は受付までお知らせくださいますようお願い致します。

受付の待ち合いには

“こんな症状はありませんか？”という、胃・大腸の気になる症状をチェックできる用紙を置いています。
お待ちいただく間に、ぜひご活用下さい。

坂本 とも子